

郷里の陸前高田市は東日本大震災で壊滅的な被害

震災・防災対策に全力

6月議会報告

震災で実家が全壊、避難所暮らしを余儀なくされた両親を引き取って三か月がたちました。親類にも犠牲者が出ました。こうした経験をもとに、本会議の一質問では、震災・防災対策をメインに取り組みました。



学校の耐震化は国の補助のかさ上げのある
平成27年度までに完了させよ
国は、震災で多くの学校が避難所として使われたことから、平成27年度までに全ての学校の耐震化を終了させることを決めました。期限を明確にしたのは初めての事です。釧路市では19の小中学校が耐震化されています。釧路市では「国の方針に合わせて耐震化を完了せよ」と質問、「急ぐべきではないです。」と答弁しました。これは十分理解しているが、PFIの調査結果が分かったら、完了時期を判断したい」と答弁しました。

避難所機能を備えた

市営住宅を造るべき



巨大津波が来ても高台に逃げられない低地が釧路にはたくさんあります。こうした地域には、上層階に避難所を兼ねた集会所を入れた高層の市営住宅を造るよう提案しました。
津波避難タワーのようなものではなく、普段の使い道はありませんが、市営住宅なら地域にも喜ばれ、市民ニーズにも応えられます。

海光・大楽毛南は避難所の見直しを

避難所の問題も浮き彫りになりました。音別海光では、暖房施設も体を休めるものもないこと、大楽毛南は津波緊急一時施設が2階建ての低さです。いずれも見直しすることになりました。

「国の方針に合わせて耐震化を完了せよ」と質問、「急ぐべきではないです。」と答弁しました。



村上かずしげ通信

11.6.19 発行 日本共産党釧路市議団 TEL23-5212

この通信は政務調査費で作成しています。

経営の厳しさがはっきり!!
昭和中央土地区画整理組合



度保留地の販売は21年
計画を大きく下回り、
賦課金を完納した人は
31%、分割納付も13%
しかない。私の質問
への答弁です。